

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
キャリア教育Ⅳ（ビジネスデザイン・情報・ファッション） Career Education Ⅳ		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	必修（ ）		特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
川副 令		授業中に指示します	授業中に指示します	授業中に指示します
授業の概要				
就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけ、自己を生かす職業に就くために必要になる知識や技術や望ましい態度等を学ぶ。				
授業の目標				
①より良い進路実現へ向けて課題を見出し、解決へ向けて努力できるようにする。 ②職業に関わる価値観や役割や責任を理解し、心構えを作れるようにする。 ③自分がどのような職業に興味があり、向いているのかを具体的に考えられるようにする。 ④相手の伝えたいことを察し、相手を気づかいながら自分の思いを伝えられるようにする。 ⑤就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけることができるようにする。				
授業の方法				
各クラスで個別ワークやグループワーク、アクティヴ・ラーニングを実施する。グループワークでは先生や仲間と積極的に関わるようにし、課題はキャリア形成や職場での問題解決のために必要なことを用意しているので、自己を振り返る機会を持ち、気付いたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。				
学習の成果（学習成果）				
(1)自分の職業生活を設計できる。 (2)自己の職業への適性を知り、必要な能力を高めることができる。 (3)職場環境に適応し、そこでの問題を解決するための活路を見出すことができる。 (4)就職活動を通して進路を実現し、職場での基本的な問題の解決ができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	オリエンテーション 進路個別面談、進路活動報告と新聞記事の活用(毎回のレポート課題として行う)、キャリアデザイン(履修計画)再考。			
第2回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、今後の学生生活の目標と計画を立てる(個別ワーク)。			
第3回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の進路活動について発表用資料を作成する① 業界について。			
第4回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の進路活動について発表用資料を作成する② 職種について。			
第5回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の進路活動について発表用資料を作成する③ 会社の沿革と経営理念。			
第6回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、今後の学生生活の目標と計画について発表(個別ワーク)。			

第7回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の進路活動について発表用資料を作成する④ 就職活動のながれ。	
第8回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、社会人としての心構えについて考える①（個別・グループワーク）。	
第9回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、社会人としての心構えについて考える② 発表。	
第10回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の進路活動について発表用資料を作成する⑤ 就職活動に必要な準備。	
第11回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の進路活動について発表用資料を作成する⑥ 後輩へのアドバイス。	
第12回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の進路活動について発表① グループA。	
第13回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の進路活動について発表② グループB。	
第14回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、学生生活の目標と計画の振り返りー 発表。	
第15回目	進路個別面談、進路活動報告のまとめ、キャリア教育で学んだことについてまとめ。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	講義者の話を集中して聞き、疑問点は主体的に質問し解決している。与えられたテーマについて仲間の意見をよく聞き、自分の考えを述べている。クラスのワークに積極的に取り組み、貢献、努力をしている。
レポート	70%	進路活動報告、新聞の活用 各5点それぞれ7つ以上、進路活動発表資料を提出している。内容が他者にもわかりやすくまとめてあり、自身の考えや感想を述べている。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
『大学生のためのキャリアガイドブック』（北大路書房、既購入）。参考書は講義中に適宜指示する。		
履修上の留意点・ルール		
積極的に参加し、進路の実現に向けて行動し反省し修正すること。マナーを守り、自分で考え、課題は提出べ切を守り必ず提出すること。課題の提出締め切りはクラス指導の場で示す。欠席の場合は欠席届を提出すること。		

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限	
キャリア教育Ⅳ(健康スポーツ振興) Career Education Ⅳ		2年	後期	別途、時間割参照	
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限	
1単位	演習	必修 ()		特になし	
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目					
特になし					
同時に履修しておくことが望まれる科目					
特になし					
担当者に関する情報					
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
加藤 秀治		本館 2F	授業中に指示します	授業中に指示します	
授業の概要					
就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけ、自己を生かす職業に就くために必要になる知識や技術や望ましい態度等を学ぶ。					
授業の目標					
①より良い進路実現へ向けて課題を見出し、解決へ向けて努力できるようにする。 ②職業に関わる価値観や役割や責任を理解し、心構えを作れるようにする。 ③自分がどのような職業に興味があり、向いているのかを具体的に考えられるようにする。 ④相手の伝えたいことを察し、相手を気づかいながら自分の思いを伝えられるようにする。 ⑤就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけることができるようにする。					
授業の方法					
各クラスで個別ワークやグループワーク、アクティヴ・ラーニングを実施する。グループワークでは先生や仲間と積極的に関わるようにし、課題はキャリア形成や職場での問題解決のために必要なことを用意しているので、自己を振り返る機会を持ち、気付いたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。					
学習の成果（学習成果）					
(1)自分の職業生活を設計できる。 (2)自己の職業への適性を知り、必要な能力を高めることができる。 (3)職場環境に適応し、そこでの問題を解決するための活路を見出すことができる。 (4)就職活動を通して進路を実現し、職場での基本的な問題の解決ができる。					
授業のスケジュールと内容					
第1回目	ガイダンス 履修指導				
第2回目	進路個人面談① 就職内定者＝資格試験対策問題の実施				
第3回目	タイムマネジメントについての説明及びディスカッション 【課題1】 受講内容の要約を時間内に提出				
第4回目	職場での人間関係についてグループワークを行う 【課題2】 グループワークで出た意見をまとめ、時間内に発表				
第5回目	マネープランについての説明及び自身のプラン作成【課題3】自身のマネープランを作成し、時間内に提出				
第6回目	就職活動中の者：進路個別面談② 就職内定者：就職活動について報告書作成				

第7回目	資格取得に係る模擬問題・実技指導の実施①	
第8回目	資格取得に係る模擬問題・実技指導の実施②	
第9回目	資格取得に係る模擬問題・実技指導の実施③	
第10回目	レジャー・レクリエーションから余暇の過ごし方を考える 【課題4】受講内容の要約を時間内に提出	
第11回目	資格取得に係る模擬問題・実技指導の実施④	
第12回目	資格取得に係る模擬問題・実技指導の実施⑤	
第13回目	知育、知的好奇心について 【課題5】受講内容の要約を時間内に提出	
第14回目	ヘルスケア・生涯スポーツの大切さについて 【課題6】受講内容の要約を時間内に提出	
第15回目	まとめ 【課題7】キャリア教育から学んだこと	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	講義者の話を集中して聞き、疑問点は主体的に質問し解決している。与えられたテーマについて仲間の意見をよく聞き、自分の考えを述べている。クラスのワークに積極的に取り組み、貢献、努力をしている。
レポート	70%	7つの課題を提出している。内容が他者にもわかりやすくまとめてあり、自身の考えや感想を述べている。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
『大学生のためのキャリアガイドブック』（北大路書房、既購入）。参考書は講義中に適宜指示する。		
履修上の留意点・ルール		
積極的に参加し、進路の実現へ向け行動し反省し修正すること。マナーを守り、自分で考え、課題を必ず提出すること。教室への食べ物は持ち込み禁止、携帯電話の使用禁止。		

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
キャリア教育Ⅳ(観光ホスピタリティ) Career Education Ⅳ		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	必修 ()		特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
立川 聡子	授業中に指示します	授業中に指示します		授業中に指示します
授業の概要				
就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけ、自己を生かす職業に就くために必要になる知識や技術や望ましい態度等を学ぶ。				
授業の目標				
①より良い進路実現へ向けて課題を見出し、解決へ向けて努力できるようにする。 ②職業に関わる価値観や役割や責任を理解し、心構えを作れるようにする。 ③自分がどのような職業に興味があり、向いているのかを具体的に考えられるようにする。 ④相手の伝えたいことを察し、相手を気づかいながら自分の思いを伝えられるようにする。 ⑤就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけることができるようにする。				
授業の方法				
各クラスで個別ワークやグループワーク、アクティヴ・ラーニングを実施する。グループワークでは先生や仲間と積極的に関わるようにし、課題はキャリア形成や職場での問題解決のために必要なことを用意しているので、自己を振り返る機会を持ち、気付いたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。				
学習の成果（学習成果）				
(1)自分の職業生活を設計できる。 (2)自己の職業への適性を知り、必要な能力を高めることができる。 (3)職場環境に適応し、そこでの問題を解決するための活路を見出すことができる。 (4)就職活動を通して進路を実現し、職場での基本的な問題の解決ができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	オリエンテーション 進路個別面談、進路活動報告と新聞記事の活用(毎回のレポート課題として行う)、キャリアデザイン(履修計画)再考。			
第2回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、今後の学生生活の目標と計画を立てる(個別ワーク)。			
第3回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の進路活動について発表用資料を作成する① 業界について。			
第4回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の進路活動について発表用資料を作成する② 職種について。			
第5回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の進路活動について発表用資料を作成する③ 会社の沿革と経営理念。			
第6回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、今後の学生生活の目標と計画について発表(個別ワーク)。			

第7回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の進路活動について発表用資料を作成する④ 就職活動のながれ。	
第8回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、社会人としての心構えについて考える①（個別・グループワーク）。	
第9回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、社会人としての心構えについて考える② 発表。	
第10回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の進路活動について発表用資料を作成する⑤ 就職活動に必要な準備。	
第11回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の進路活動について発表用資料を作成する⑥ 後輩へのアドバイス。	
第12回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の進路活動について発表① グループA。	
第13回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の進路活動について発表② グループB。	
第14回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、学生生活の目標と計画の振り返りー 発表。	
第15回目	進路個別面談、進路活動報告のまとめ、キャリア教育で学んだことについてまとめ。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	講義者の話を集中して聞き、疑問点は主体的に質問し解決している。与えられたテーマについて仲間の意見をよく聞き、自分の考えを述べている。クラスのワークに積極的に取り組み、貢献、努力をしている。
レポート	70%	進路活動報告、新聞の活用 各5点それぞれ7つ以上、進路活動発表資料を提出している。内容が他者にもわかりやすくまとめてあり、自身の考えや感想を述べている。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
『大学生のためのキャリアガイドブック』（北大路書房、既購入）。参考書は講義中に適宜指示する。		
履修上の留意点・ルール		
積極的に参加し、進路の実現に向けて行動し反省し修正すること。マナーを守り、自分で考え、課題は提出べ切を守り必ず提出すること。課題の提出締め切りはクラス指導の場で示す。欠席の場合は欠席届を提出すること。		

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限	
キャリア教育Ⅳ(栄養士) 卒業研究 Career Education Ⅳ		2年	後期	別途、時間割参照	
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限	
1単位	演習	必修 ()		特になし	
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目					
特になし					
同時に履修しておくことが望まれる科目					
特になし					
担当者に関する情報					
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
穂積 元・藤田 睦・駒場 啓子・野中 春名		授業中に指示します	授業中に指示します	授業中に指示します	
授業の概要					
就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけ、自己を生かす職業に就くために必要になる知識や技術や望ましい態度等を学ぶ。					
授業の目標					
①より良い進路実現へ向けて課題を見出し、解決へ向けて努力できるようにする。 ②職業に関わる価値観や役割や責任を理解し、心構えを作れるようにする。 ③自分がどのような職業に興味があり、向いているのかを具体的に考えられるようにする。 ④相手の伝えたいことを察し、相手を気づかいながら自分の思いを伝えられるようにする。 ⑤就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけることができるようにする。 ⑥栄養士の資格を目指す学生として幅広い基本知識を習得することができるようにする。 ⑦栄養士の資格を目指す学生として、コミュニケーション能力を養い状況判断ができるようにする。					
授業の方法					
各クラスで個別ワークやグループワーク、アクティヴ・ラーニングを実施する。グループワークでは先生や仲間と積極的に関わるようにし、課題はキャリア形成や職場での問題解決のために必要なことを用意しているので、自己を振り返る機会を持ち、気付いたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。					
学習の成果（学習成果）					
(1)自分の職業生活を設計できる。 (2)自己の職業への適性を知り、必要な能力を高めることができる。 (3)職場環境に適応し、そこでの問題を解決するための活路を見出すことができる。 (4)栄養士としての実践力を養うことができる。 (5)就職活動を通して進路を実現し、職場での基本的な問題の解決ができる。					
授業のスケジュールと内容					
第1回目	合同セミナー 講義ガイダンス（学外実習を終えて・・・個人研究テーマを考える）				
第2回目	合同セミナー（個人研究テーマの決定、発表）				
第3回目	コース別セミナー（卒業研究発表に向けて①）				
第4回目	コース別セミナー（卒業研究発表に向けて②）				
第5回目	コース別セミナー（発表に向けての調べ学習、媒体製作、商品開発の試作、教員との対話①）				
第6回目	コース別セミナー（発表に向けての調べ学習、媒体製作、商品開発の試作、教員との対話②）				

第7回目	コース別セミナー（発表に向けての調べ学習、媒体製作、商品開発の試作、教員との対話③）	
第8回目	コース別セミナー（発表に向けての調べ学習、媒体製作、商品開発の試作、教員との対話④ 中間報告）	
第9回目	コース別セミナー（発表に向けての調べ学習、媒体製作、商品開発の試作、教員との対話⑤）	
第10回目	コース別セミナー（発表に向けての調べ学習、媒体製作、商品開発の試作、教員との対話⑥）	
第11回目	コース別セミナー（発表に向けての調べ学習、媒体製作、商品開発の試作、教員との対話⑦）	
第12回目	合同セミナー（卒業研究発表①）	
第13回目	合同セミナー（卒業研究発表②）	
第14回目	合同セミナー（卒業研究発表③）	
第15回目	合同セミナー（卒業に向けて、まとめ）	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	講義者の話を集中して聞き、疑問点は主体的に質問し解決している。与えられたテーマについて仲間の意見をよく聞き、自分の考えを述べている。クラスのワークに積極的に取り組み、貢献、努力をしている。
レポート	20%	発表内容をレポートにまとめ提出する。内容が他者にもわかりやすくまとめてあり、自身の考えや感想を述べている。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）	50%	卒業研究として各テーマでの調べ学習について意見をしっかりとまとめている。発表媒体をわかりやすく作成し卒業研究にふさわしいプレゼンテーションができる。
その他		
教科書と参考図書		
『大学生のためのキャリアガイドブック』（北大路書房、既購入）。参考書は講義中に適宜指示する。		
履修上の留意点・ルール		
積極的に参加し、進路の実現へ向け行動し反省し修正すること。マナーを守り、自分で考え、フィールド毎の課題を必ず提出すること。欠席した場合は学生支援課で共通の講義資料を受け取ること。課題の提出〆切はクラス指導の場で示す。		

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
キャリア教育Ⅳ(社会福祉士) Career Education Ⅳ		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	必修 ()		特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
大熊 信成 / 中島 佳子		授業中に指示します	授業中に指示します	授業中に指示します
授業の概要				
就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけ、自己を生かす職業に就くために必要になる知識や技術や望ましい態度等を学ぶ。				
授業の目標				
①より良い進路実現へ向けて課題を見出し、解決へ向けて努力できるようにする。 ②職業に関わる価値観や役割や責任を理解し、心構えを作れるようにする。 ③自分がどのような職業に興味があり、向いているのかを具体的に考えられるようにする。 ④相手の伝えたいことを察し、相手を気づかいながら自分の思いを伝えられるようにする。 ⑤就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけることができるようにする。 ⑥論文作成における文献検索が的確にできるようにする。 ⑦社会福祉研究ノートを明確な論拠に基づき執筆できるようにする。				
授業の方法				
各クラスで個別ワークやグループワーク、アクティヴ・ラーニングを実施する。グループワークでは先生や仲間と積極的に関わるようにし、課題はキャリア形成や職場での問題解決のために必要なことを用意しているので、自己を振り返る機会を持ち、気付いたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。				
学習の成果（学習成果）				
(1)自分の職業生活を設計できる。 (2)自己の職業への適性を知り、必要な能力を高めることができる。 (3)職場環境に適応し、そこでの問題を解決するための活路を見出すことができる。 (4)論拠の基づいた論文を作成することができる。 (5)就職活動を通して進路を実現し、職場での基本的な問題の解決ができるようになる。 (6)論文が書けるようになる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	オリエンテーション／履修指導 「必修科目、取得単位数確認、履修指導、みかも祭について」			
第2回目	社会福祉研究ノート(卒業研究レポート)作成、文献検索の方法			
第3回目	社会福祉研究ノートのテーマ設定について			
第4回目	社会福祉研究ノートの概要について。			
第5回目	研究ノート／進路面談：社会福祉研究ノートの注釈、引用・参考文献について。			
第6回目	研究ノート／進路面談：社会福祉研究ノートのテーマ・概要作成。			

第7回目	研究ノート／進路面談：社会福祉研究ノートのテーマ及び概要提出。課題①テーマ ②概要	
第8回目	キャリア講演会（卒業生）【介護福祉士フィールドと合同】課題③講演会の感想レポート	
第9回目	キャリア講演会（人事担当者）【介護福祉士フィールドと合同 課題④講演会の感想レポート	
第10回目	研究ノート／進路面談：社会福祉研究ノートの作成。	
第11回目	将来を見据えた進路の意識づけ【介護福祉士フィールドと合同】	
第12回目	労働者の生活を守る制度 【介護福祉士フィールドと合同】 課題⑤感想レポート	
第13回目	自己啓発について 【介護福祉士フィールドと合同】 課題⑥感想レポート	
第14回目	研究ノート：社会福祉研究ノート提出。 課題⑦研究ノート提出	
第15回目	まとめ	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	講義者の話を集中して聞き、疑問点は主体的に質問し解決している。与えられたテーマについて仲間の意見をよく聞き、自分の考えを述べている。クラスのワークに積極的に取り組み、貢献、努力をしている。
レポート	70%	7つの課題を提出している。内容が他者にもわかりやすくまとめてあり、自身の考えや感想を述べている。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
『大学生のためのキャリアガイドブック』（北大路書房、既購入）。参考書は講義中に適宜指示する。		
履修上の留意点・ルール		
積極的に参加し、進路の実現へ向け行動し反省し修正すること。マナーを守り、自分で考え、フィールド毎の課題を必ず提出すること。欠席した場合は学生支援課で共通の講義資料を受け取ること。課題の提出〆切はクラス指導の場で示す。		

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限	
キャリア教育Ⅳ(介護福祉士) Career Education Ⅳ		2年	後期	別途、時間割参照	
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限	
1単位	演習	必修 (特になし)		特になし	
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目					
特になし					
同時に履修しておくことが望まれる科目					
特になし					
担当者に関する情報					
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
和田 晴美、他		授業中に指示します	授業中に指示します	授業中に指示します	
授業の概要					
就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけ、自己を生かす職業に就くために必要になる知識や技術や望ましい態度等を学ぶ。					
授業の目標					
①より良い進路実現へ向けて課題を見出し、解決へ向けて努力できるようにする。 ②職業に関わる価値観や役割や責任を理解し、心構えを作れるようにする。 ③自分がどのような職業に興味があり、向いているのかを具体的に考えられるようにする。 ④相手の伝えたいことを察し、相手を気づかいながら自分の思いを伝えられるようにする。 ⑤就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけることができるようにする。					
授業の方法					
各クラスで個別ワークやグループワーク、アクティヴ・ラーニングを実施する。グループワークでは先生や仲間と積極的に関わるようにし、課題はキャリア形成や職場での問題解決のために必要なことを用意しているので、自己を振り返る機会を持ち、気付いたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。					
学習の成果（学習成果）					
(1)自分の職業生活を設計できる。 (2)自己の職業への適性を知り、必要な能力を高めることができる。 (3)職場環境に適応し、そこでの問題を解決するための活路を見出すことができる。 (4)就職活動を通して進路を実現し、職場での基本的な問題の解決ができる。					
授業のスケジュールと内容					
第1回目	オリエンテーション、履修指導 (必修科目、取得単位数確認、履修指導、みかも祭について等)				
第2回目	連携と協働について（みかも祭を通して）①				
第3回目	連携と協働について（みかも祭を通して）② 課題① 学び・感想レポート				
第4回目	事例研究のまとめ① (和田)				
第5回目	事例研究のまとめ② (和田)				
第6回目	国家試験準備① 課題② 準備に係る担当の役割レポート (新井・久保)				

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
キャリア教育Ⅳ(こども) Career Education Ⅳ		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	必修 ()		特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
岡泉志のぶ・小竹利夫・松崎勇人 他	授業中に指示します	授業中に指示します	授業中に指示します	
授業の概要				
就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけ、自己を生かす職業に就くために必要になる知識や技術や望ましい態度等を学ぶ。				
授業の目標				
①より良い進路実現へ向けて課題を見出し、解決へ向けて努力できるようにする。 ②職業に関わる価値観や役割や責任を理解し、心構えを作れるようにする。 ③自分がどのような職業に興味があり、向いているのかを具体的に考えられるようにする。 ④相手の伝えたいことを察し、相手を気づかいながら自分の思いを伝えられるようにする。 ⑤就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけることができるようにする。 ⑥地域連携事業やボランティア活動に積極的に参加し、社会に貢献する意識を持てるようにする。				
授業の方法				
各クラスで個別ワークやグループワーク、アクティヴ・ラーニングを実施する。グループワークでは先生や仲間と積極的に関わるようにし、課題はキャリア形成や職場での問題解決のために必要なことを用意しているので、自己を振り返る機会を持ち、気付いたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。				
学習の成果（学習成果）				
(1)自分の職業生活を設計できる。 (2)自己の職業への適性を知り、必要な能力を高めることができる。 (3)職場環境に適応し、そこでの問題を解決するための活路を見出すことができる。 (4)地域連携事業やボランティア活動に関心を持ち、社会に貢献する意識を高めることができる。 (5)就職活動を通して進路を実現し、職場での基本的な問題の解決ができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	オリエンテーション（小竹） 履修指導と秋期予定について（クラス指導60分） 岡泉・小竹・松崎			
第2回目	地域支援活動について③（岡泉） （クラス指導45分） 岡泉・小竹・松崎			
第3回目	学校という場における地域貢献活動を考える④ （クラス別指導90分） 岡泉・小竹・松崎			
第4回目	ボランティア報告（小竹） 【課題１】「地域貢献活動感想文」、【課題２】「ボランティアについて」（クラス指導45分） 岡泉・小竹・松崎			
第5回目	地域支援活動について④（岡泉） （クラス指導45分） 岡泉・小竹・松崎			
第6回目	保育士登録について① 氏名・本籍確認票配布と回収（小竹・松崎） （クラス別指導なし）			

第7回目	幼稚園免許申請について（松崎）（クラス指導45分）岡泉・小竹・松崎	
第8回目	保育士登録について②（小竹）（クラス指導45分）岡泉・小竹・松崎	
第9回目	地域支援活動について⑤（岡泉）（クラス指導45分）岡泉・小竹・松崎	
第10回目	実習の省察と進路の検討②（小竹）【課題3】「実習を終えて②」（クラス指導45分）岡泉・小竹・松崎	
第11回目	実習の省察と進路の検討③（小竹）【課題4】「実習を終えて③」（クラス指導45分）岡泉・小竹・松崎	
第12回目	地域支援活動について⑥（岡泉）【課題5】「地域支援活動報告」（クラス指導45分）岡泉・小竹・松崎	
第13回目	年度末試験・卒業に向けて（岡泉）【課題6】「就職報告と仕事に対する心構え」（クラス指導45分）岡泉・小竹・松崎	
第14回目	保育士登録・幼稚園免許申請（小竹・松崎）（クラス指導45分）岡泉・小竹・松崎	
第15回目	まとめ（松崎）【課題7】「キャリア教育の学び」（クラス指導45分）岡泉・小竹・松崎	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	講義者の話を集中して聞き、疑問点は主体的に質問し解決している。与えられたテーマについて仲間の意見をよく聞き、自分の考えを述べている。クラスのワークに積極的に取り組み、貢献、努力をしている。
レポート	70%	7つの課題を提出している。内容が他者にもわかりやすくまとめてあり、自身の考えや感想を述べている。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
『大学生のためのキャリアガイドブック』（北大路書房、既購入）。参考書は講義中に適宜指示する。		
履修上の留意点・ルール		
積極的に参加し、進路の実現へ向け行動し反省し修正すること。マナーを守り、自分で考え、フィールド毎の課題を必ず提出すること。課題の提出〆切はクラス指導の場で示す。		

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
キャリア教育Ⅳ(英語コミュニケーション) Career Education Ⅳ		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	必修 ()		特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
堤 裕美子		授業中に指示します	授業中に指示します	授業中に指示します
授業の概要				
就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけ、自己を生かす職業に就くために必要になる知識や技術や望ましい態度等を学ぶ。				
授業の目標				
①より良い進路実現へ向けて課題を見出し、解決へ向けて努力できるようにする。 ②職業に関わる価値観や役割や責任を理解し、心構えを作れるようにする。 ③自分がどのような職業に興味があり、向いているのかを具体的に考えられるようにする。 ④相手の伝えたいことを察し、相手を気づかいながら自分の思いを伝えられるようにする。 ⑤就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけることができるようにする。				
授業の方法				
各クラスで個別ワークやグループワーク、アクティヴ・ラーニングを実施する。グループワークでは先生や仲間と積極的に関わるようにし、課題はキャリア形成や職場での問題解決のために必要なことを用意しているので、自己を振り返る機会を持ち、気付いたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。				
学習の成果（学習成果）				
(1)自分の職業生活を設計できる。 (2)自己の職業への適性を知り、必要な能力を高めることができる。 (3)職場環境に適応し、そこでの問題を解決するための活路を見出すことができる。 (4)就職活動を通して進路を実現し、職場での基本的な問題の解決ができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	オリエンテーション 進路個別面談、進路活動報告と新聞記事の活用(毎回のレポート課題として行う)、キャリアデザイン(履修計画)再考。			
第2回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、今後の学生生活の目標と計画を立てる(個別ワーク)。			
第3回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の進路活動について発表用資料を作成する① 業界について。			
第4回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の進路活動について発表用資料を作成する② 職種について。			
第5回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の進路活動について発表用資料を作成する③ 会社の沿革と経営理念。			
第6回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、今後の学生生活の目標と計画について発表(個別ワーク)。			

第7回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の進路活動について発表用資料を作成する④ 就職活動のながれ。	
第8回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、社会人としての心構えについて考える①（個別・グループワーク）。	
第9回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、社会人としての心構えについて考える② 発表。	
第10回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の進路活動について発表用資料を作成する⑤ 就職活動に必要な準備。	
第11回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の進路活動について発表用資料を作成する⑥ 後輩へのアドバイス。	
第12回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の進路活動について発表① グループA。	
第13回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、各自の進路活動について発表② グループB。	
第14回目	進路個別面談、進路活動報告、新聞記事の活用、学生生活の目標と計画の振り返りー 発表。	
第15回目	進路個別面談、進路活動報告のまとめ、キャリア教育で学んだことについてまとめ。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	講義者の話を集中して聞き、疑問点は主体的に質問し解決している。与えられたテーマについて仲間の意見をよく聞き、自分の考えを述べている。クラスのワークに積極的に取り組み、貢献、努力をしている。
レポート	70%	進路活動報告、新聞の活用 各5点それぞれ7つ以上、進路活動発表資料を提出している。内容が他者にもわかりやすくまとめてあり、自身の考えや感想を述べている。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
『大学生のためのキャリアガイドブック』（北大路書房、既購入）。参考書は講義中に適宜指示する。		
履修上の留意点・ルール		
積極的に参加し、進路の実現に向けて行動し反省し修正すること。マナーを守り、自分で考え、課題は提出べ切を守り必ず提出すること。課題の提出締め切りはクラス指導の場で示す。欠席の場合は欠席届を提出すること。		

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
キャリア教育Ⅳ(医療事務・メンタルヘルス) Career Education Ⅳ		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	必修	(医療秘書技能検定対策講座)	医療秘書演習 I・Ⅱの履修者
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
メディカルクラーク、ドクタズクラーク				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
電子カルテ I・Ⅱ				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
古川 貴子・小竹 仁美		授業中に指示します	授業中に指示します	授業中に指示します
授業の概要				
就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけ、自己を生かす職業に就くために必要になる知識や技術や望ましい態度等を学ぶ。				
授業の目標				
①より良い進路実現へ向けて課題を見出し、解決へ向けて努力できるようにする。 ②職業に関わる価値観や役割や責任を理解し、心構えを作れるようにする。 ③自分がどのような職業に興味があり、向いているのかを具体的に考えられるようにする。 ④相手の伝えたいことを察し、相手を気づかいながら自分の思いを伝えられるようにする。 ⑤就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけることができるようにする。 ⑥医療秘書としての役割と必要性について理解し行動できるようにする。 ⑦専門職として職場でのコミュニケーション能力を身につけることができるようにする。 ⑧医療秘書技能検定2級に合格できるようにする。				
授業の方法				
各クラスで個別ワークやグループワーク、アクティヴ・ラーニングを実施する。グループワークでは先生や仲間と積極的に関わるようにし、課題はキャリア形成や職場での問題解決のために必要なことを用意しているので、自己を振り返る機会を持ち、気付いたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。				
学習の成果（学習成果）				
(1)自分の職業生活を設計できる。 (2)自己の職業への適性を知り、必要な能力を高めることができる。 (3)職場環境に適応し、そこでの問題を解決するための活路を見出すことができる。 (4)医療秘書としての知識を身につけることができる。 (5)就職活動を通して進路を実現し、職場での基本的な問題の解決ができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	オリエンテーション 医療秘書とは			
第2回目	医療秘書の役割と必要性 【課題1 具体的な医療秘書の役割】			
第3回目	医療機関の組織と理解 【課題2 医療機関における各部署と役割】			
第4回目	基礎薬理 ①			
第5回目	基礎薬理 ② 【課題3 特定疾患療養管理料対象病名と主な薬剤名】			
第6回目	臨床薬理 ①			

第7回目	臨床薬理 ② 【課題 4 : 薬剤における副作用について】	
第8回目	ケースワーク I	
第9回目	ケースワーク II	
第10回目	ケースワーク III 【課題 5 : よく使われるカルテ用語】	
第11回目	傾向と対策 1	
第12回目	傾向と対策 2	
第13回目	傾向と対策 3 【課題 6 : 350床医療機関での入院算定】	
第14回目	傾向と対策 4	
第15回目	傾向と対策 5 【課題 7 : クリニカルパスの作成】	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	講義者の話を集中して聞き、疑問点は主体的に質問し解決している。与えられたテーマについて仲間の意見をよく聞き、自分の考えを述べている。クラスのワークに積極的に取り組み、貢献、努力をしている。
レポート	70%	7つの課題を提出している。内容が他者にもわかりやすくまとめてあり、自身の考えや感想を述べている。
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
『大学生のためのキャリアガイドブック』（北大路書房、既購入）。参考書は講義中に適宜指示する。		
履修上の留意点・ルール		
積極的に参加し、進路の実現へ向け行動し反省し修正すること。マナーを守り、自分で考え、フィールド毎の課題を必ず提出すること。欠席した場合は学生支援課で共通の講義資料を受け取ること。課題の提出〆切はクラス指導の場で示す。		